

高原新理事長の所信



この度、古賀忠壹高原新理事長の所信◆前理事長を引き継いで、その大役を仰せつかった高原三平です。どうぞよろしくお願い申し上げます。出身は岡山市です。自然豊かな環境

の中で高校まで育ち、大学では建築を専攻し、部活は山岳部でした。4年間の内1年間は山の中で過ごしました。そして、集合住宅の設計施工の会社に入り、約40年間お世話になりました。在職中に2回、ヒマラヤ登山の機会を得たことは、人の価値感の多様性を学ぶこととなりました。退職を機に、以前より興味を抱いていた「社会福祉」の学校に2年間通いました。その頃、本会を知ることになり、養成講座受講の後、入会しました。13年前のことです。今迄、他の組織での個人受任を含め、6名の方の後見人を務めております。

さて、今回は、理事長に加え今までの事務局長を兼務するということで、緊張と不安の門出となっております。そんな中で考えることは三つあります。

一つ目は、「確実に後見人を務める」です。他人の財産を預かり、

その人に代わり生きていく上での様々な契約を行う、これは責任重大です。本人の立場でものを考えるという基本を忘れず、今迄培ってきた人としての原点に返りながらやっていければと思います。

二つ目は、「市民後見人を地域の中で根付かせる」です。そのためには、市民後見人の役割の必要性・重要性を周辺にアピールし市民権を得ることです。そうすることが、地域連携ネットワークをより強固なものにしていくと思います。

三つ目は、「活動することが楽しい会である」です。社会的に問題点の大きい、重いテーマを抱えながらの活動です。仲間と語りながら深耕することにより、困難を乗り越えられればと思います。その先には、やりがいと楽しさが待っていると信じます。